

令和5年、「数理教育コース」開設「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」必修化 文理融合教育で新たな知を拓く



第91号
令和4年5月



■注目記事

- 2面 令和4年度 皇學館大学入学式 653名が夢への第一歩を刻む
- 3面 志高く、706名が巣立つ 令和3年度 学位記・修士証書授与式
- 4面 地域連携 本学と鈴鹿中等教育学校・鈴鹿高等学校が連携
- 5面 芝崎俊也氏が皇學館高等学校・中学校校長に就任
- 6面 令和3年度 教学振興会寄付者芳名
- 7面 インフォメーション 人事異動、シリーズ「卒業生奮闘中」ほか
- 8面 卒業生随想

K-らいふ(全学一体第168号)
退任によせて、河野学長×学生座談会「文理融合カリキュラムへの提言」ほか



発行・編集 学校法人皇學館 企画部
TEL 0596-22-6496・8600

大学 大学院 文学部 教育学部
専攻科 現代日本社会学部
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL 0596-22-0201(代) FAX 0596-27-1704

高等学校・中学校
三重県伊勢市楠部町138
[高校] 〒516-8577 TEL 0596-22-0205(代)
[中学] 〒516-8588 TEL 0596-23-1398(代)

予測が難しい時代においては陳腐化しない普遍的なスキルに加え、人工知能(AI)等のテクノロジーを使いこなす知識や技能に長けた人材が求められる。そうした社会のニーズに応えるべく、本学では教育学部に令和5年度「数理教育コース」の開設(予定)や全学生対象の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」開講に向け準備を進めている。賀陽宮邦憲王の令旨には「わが国の歴史に根ざした道義と学問とを学び、実際の社会の中でこれを実践して文明の発展に寄与する」とある。建学の精神を令和の時代にふさわしい形で体現できる人材の育成をめざす。

「文理を問わず」「数理的思考」が必要

平成30年に文部科学省が取りまとめた「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」では、情報を基盤とした社会においては「数理・データサイエンス等を基盤的リテラシーと捉え、文理を越えて共通に身に付けていくことが重要である」「特に、人工知能(AI)などの技術革新が進んでいく中においては、新しい技術を使っていく側として、読解力や数学的思考力を含む基礎的で普遍的な知識・理解と汎用的な技能を持ち、その知識や技能を活用



「文系の人たちが数字に慣れる土壌を整えたい」と話す中松教育学部長

と語った。求める人材像については「地域に根差した大学として、文理系問わず、多様な人材を受け入れていきたい」と中松教育学部長。上野助教は「失敗やうまくいかなかった経験を持つ人の方が言葉に重みがある。数学や理科が苦手であっても、同じく得意ではない子どもたちの気持ちがわか

「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」が必修化

政府は令和元年6月に策定した「AI戦略2019」でデジタル社会の「読み・書き・そろばん」である「数理・データサイエンス・AI」の素養を身に付けた人材の育成が急務として、令和7年の実現を念頭に下表の教育目標を打ち立てた。リテラシーレベルにおいては文理を問わず全ての大学・高専生が課程で「数理・データサイエンス・AI」に関する初級レベルの知識・技能を習得すること、文理横断的な教育を含むリベラルアーツの推進、応用基礎レベルでは自らの専門分野に活用できる力の獲得が掲げられている。これを受け、文部科学省がモデルとなる「数理・データサイエンス・AI教育プロ

グラム」を公表。政府が優れた教育プログラムを認定する制度もリテラシーレベル・応用基礎レベル両方で始まり、本学は両レベルでの認定をめざす。今後本学では、地域課題や社会問題に文理複眼の幅広い視野、総合知で挑む人材を育成すべく副専攻を設置し、理系科目に苦手意識がある学生にも丁寧な指導していく予定だ。

令和5年4月より本学は教育学部教育学科に「数理教育コース」(中高の数学教員資格取得が可能*)を開設する(予定)。その意義について中松豊教育学部部長は「三重県の小学校では合格者の4割を本学学生が占めており、教育現場に与える影響は大きい。物事を多面的に捉える理数的なものの方をきちんと学び、実践できる教員の養成は我々の責務」と話し、算数・数学教育ゼミの上野

助教は「情報の取捨選択、具体と抽象の行き来といった数学的思考力は今後ますます重要になる」

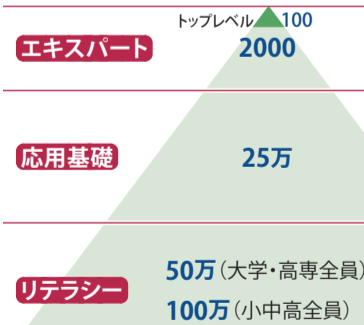
は今後ますます重要になる



「苦手なことを強みに変えるのは自分次第」と上野助教

は今後ますます重要になる

●2025年目標(人/年)



●本学で開講される「数理・データサイエンス・AI」教育カリキュラム(予定)

該当レベル	科目名	開講年度
AI基礎	選択	令和7年度
データサイエンス・データエンジニアリング基礎	選択	令和7年度
プログラミング・アルゴリズム基礎	選択	令和6年度
数学基礎	選択	令和6年度
リテラシーレベル	データサイエンス入門	必修 令和5年度
	統計学基礎	選択 令和4年度

出典:「総合イノベーション戦略推進会議(第5回)資料」

4月30日、「創立百四十周年・再興六十周年記念行事」を開催

本学は令和4年4月に「皇學館大学創立百四十周年・再興六十周年」を迎えました。4月30日(土)に開催された記念式典には学校関係者などおよそ300名の方にご参列いただきました。当日の様相につきましては以下よりデジタル版をご覧ください。



研究室を訪れた人は、これを全部読んだのですか、と尋ねる。いや、これは調べるためのもので読むものではありません、とうそぶく▼昔、ある人が半年使わなかった本は一生使わないから古本屋に売り渡す、と言っていた▼たしかに、本棚を見れば、これはもう使わないだろうなと思う本が目に入るが、いやいや、また使うことがあるかも知れないと思う▼実際、このことは確かあの本に載っていたと、久しぶりにひもとくこともあるし、その隣にあった本を読み返したら、こんなに深い示唆であったのかと反省することもある▼この逡巡こそが、研究室のみならず、自宅も本であふれかえるという問題の元凶である。与えられている空間には限りがあるから、どうしても時間に比例して本は増えていく▼それならば、新しい本を買わなければならないのだが、その我慢のきかないのが文学者の悲しい性である▼新型コロナウイルス感染症の影響で、出掛けることが制限され、以前に増して本を読むことが多くなった。極めて個人的な話で恐縮だが、本の飽和問題もまた、コロナ禍といえるのかも知れない。

【特別企画】河野学長 × 学生座談会 文理融合カリキュラムへの提言

～「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の導入を受けて～



「数理教育コース」の開設や全学生を対象とした「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の開講など、令和5年度から適用される新カリキュラムはこれまで以上に文理融合的な内容となっている。本企画ではこの度のカリキュラム改定の重責を担った筒井琢磨教育開発センター長の司会のもと、河野学長と各学部の学生が文理融合への期待や学修環境について意見を交わした。

- 座談会メンバー**
- 河野 訓 学長
 - 筒井 琢磨 教育開発センター長
 - 松村 瑠璃佳さん(国文3年)
 - 寺本 早希さん(教育3年)
 - 中村 友哉さん(現日3年)



9号館で行われた座談会。後列左から河野学長、筒井教育開発センター長、前列左から松村さん、寺本さん、中村さん

データから新たな価値を見出す

筒井センター長 ●「データサイエンス」についてどのようなイメージを持っていますか。

松村 ●「統計学基礎C(データサイエンス)」という選択科目があるので、いろいろなデータから答えを見つけていくイメージがあります。

寺本 ●言葉だけ聞くと「難しい」「理系」とのイメージが強いですが、調べてみると、多様な視点をもってデータから新たな価値を見出していく分野という風に感じました。

中村 ●義務教育で習った計算というよりは「AIプログラミング」や「社会調査」といったより専門的な数学技能を使う印象を受けました。

筒井センター長 ●皆さんがそれぞれ話してくれた3つの要素「データ」「数理」「AI」を満遍なく組み合わせる新しい価値を見出していく学問との認識でよ

ろしいかと思えます。令和5年度から「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」が始まりますが、どのような力を身に付けたいですか。

松村 ●新型コロナウイルス感染症が流行し始めたごく初期の頃はあまり危機感を持っていなかったのですが、感染者数などのデータが新聞やテレビで配信されるようになってから対策をきちんと取るようになってきました。

いろいろな面でデータを活用でき、応用する力を身に付けられたいと思っています。

筒井センター長 ●重症化率やベッド占有率といったデータを我々は今学んでいるところ。データの見方やどのようなデータが必要なのか、見極める力というのはデータサイエンスの応用になりますよね。

寺本 ●課題発見・解決能力に近づきたいと考えています。また、

情報を取捨選択する力や人間的な視点に立った捉え方、どこに着目してデータを見たいのかなど、ポイントを教えていただけるとわかりやすいのではないかと思います。

筒井センター長 ●人間的な視点とは面白い表現ですね。たしかに数字やグラフは無機的なものに見えます。しかし、背景にはその数字やグラフを出す人のメッセージが込められているものです。それを見抜く力も求められる能力の一つでしょうね。

中村 ●「プログラミング・アルゴリズム基礎」や「AI基礎」など本学に新たに導入される(予定)科目では、コンピュータに関する知識や先端技術への理解をどんどん深められることを期待しています。企業からも求められる力だと思います。

筒井センター長 ●プログラミングはロジックを組み立てて考えていく論理思考の典型ですよ。卒論も自分の考えを筋道

令和3年度 デジタルロジック 行事日誌

大 学

4月	2日	入学式
15日	2日	春学期通常講義開始(7月31日通常講義終了)
17日	17日	近鉄文化サロン共催講座(聖徳太子と「日本書紀」)
21日	21日	近鉄文化サロン共催講座(伊勢参宮の先導者たち)
22日	22日	神明宮例祭
29日	29日	国文学会総会、史学会総会、コミュニケーション学会総会、教育学会総会、オンライン実施、現代日本学会総会
30日	30日	創立記念日
5月	30日	皇學館大学デジタルアーカイブ公開
6月	6日	手指消毒・検温指導(11日)
18日	18日	高松奨励賞授与式
31日	31日	オンライン授業(6月2日)
7月	3日	手指消毒・検温指導(7日)
7日	7日	月例文化講座①(アンバー・バルコニー・コミュニケーションの役割)
13日	13日	芳賀康朗(コミュニケーション・教授)「オンライン配信」(30日)
24日	24日	特選生・特選生激励会
26日	26日	オープンキャンパス
30日	30日	チャレンジプロジェクト公開プレゼン
3日	3日	三重県生涯学習センター×皇學館大学×鳥羽市協働講座(船祭と伝統文化の継承) 齋藤平(国文・教授)
5日	5日	近鉄文化サロン共催講座(伊勢参宮名所図会)を読む
11日	11日	岡野友彦(国史・教授)
15日	15日	月例文化講座②(新時代のコミュニケーションとしての地図「ハザードマップ」と旧版地形図の読み方) 桐村喬(コミュニケーション・准教授)「オンライン配信」(31日)
16日	16日	オープンキャンパス
24日	24日	近鉄文化サロン共催講座(日本書紀)を読む 仁徳天皇(1) 大島信生(国文・教授)
31日	31日	近鉄文化サロン共催講座(伊勢参宮の先導者たち) 谷戸佑紀(国史・助教)
8月	2日	近鉄文化サロン共催講座(近代)を見た洪沢栄一・パリ万国博参加と西欧体験(長谷川怜(国史・助教))
8日	8日	月例文化講座③(言語の違いが物事の捉え方に及ぼす影響)
8日	8日	玉田貴裕(コミュニケーション・助教)「オンライン配信」(31日)
21日	21日	オープンキャンパス
24日	24日	コミュニケーション学科主催 GS Day 伊勢 2021(オンライン実施)
27日	27日	みえアカデミックセミナー2021(カラダの外に浸み出す「コロナ」身振りや手振りの役割) 芳賀康朗(コミュニケーション・教授)
9月	4日	志摩市との包括連携協定締結
4日	4日	新型コロナウイルスワクチン接種 5日、11日、12日、18日、19日、25日、26日
6日	6日	月例文化講座④(令和を生きていく感情コントロール方略)
8日	8日	高沢佳司(コミュニケーション・准教授)「オンライン配信」(30日)
14日	14日	神職養成部・教職支援担当・国際交流担当 窓口移転
17日	17日	度会町との包括連携協定締結
18日	18日	9月学位記授与式(卒業式)
10月	18日	秋学期通常講義開始(全面オンライン授業) 9月30日、10月2日、10月10日 通常講義終了
10月	1日	手指消毒・検温指導 4日
1日	1日	対面での授業再開
2日	2日	新型コロナウイルスワクチン接種 3日、9日、10日、16日、17日、23日、24日、28日
4日	4日	佐川記念神道博物館企画展(御師制度廃止150年展) 伊勢参宮の先導者たち(一) 隆盛・廃止その後(一) 11月30日
7日	7日	大紀町との包括連携協定締結
7日	7日	月例文化講座⑤(海を渡った日本古典)
10日	10日	クリストファー・メイヤー(コミュニケーション・教授)「オンライン配信」(31日)
14日	14日	名誉教授称号授与式
15日	15日	みえコミュニケーション(伊勢参宮とは何だったのか) 小林郁(研究開発推進センター) 助教
15日	15日	保護者対象就職説明会(説明会「コロナ禍での就職を取り巻く環境変化とサポート」の在り方)「オンライン配信」(会場参加併用開催)
15日	15日	第33回出雲全日本大学選抜競走出場
15日	15日	久瀬宮朝彦親王陵墓参拝
21日	21日	神嘗祭神宮参拝
21日	21日	久瀬宮朝彦親王百三十年祭
23日	23日	近鉄文化サロン共催講座(日本書紀)を読む 仁徳天皇(2) 大島信生(国文・教授)
27日	27日	教養講座「キャリアリテラシー」(伊勢参宮の先導者たち) 隆盛・廃止その後(一) 小林郁(研究開発推進センター) 助教

